

国際塾を実施(全10回の講義中、9回はオンライン講義)

特定非営利活動法人 こくさいこどもフォーラム岡山

活動の目的

グローバル人材の育成

(中高生が、グローバル人材となるための学びの場を提供する)

今や、グローバル時代！若者たちには、将来、国内外どこにいても、どのような仕事に就こうとも、幅広い視野を持つと同時に日本人としてのアイデンティティーを忘れることなく、国際感覚を養ってほしい。

- ・岡山や日本のことがわからないでは、世界のことはわからない。
- ・ESDやSDGSの発想をベースにリーダーシップを発揮してもらいたい。
- ・自らの考えを相手に伝えるためのプレゼン力や他を説得するためのディベート力も身に付けてもらいたい。

活動の内容及び経過

1. 当初の計画では、

- ①国際塾(第17期) ②Esd Café
- ③高校生グローバルゼミ
- ④創立25周年記念行事(記念パーティー、インターキッズ25周年記念誌発行)

を実施する予定であったが、②③④は、コロナ禍により中止せざるを得なかった。

2. 国際塾・・・全10回の講義を実施した。

但し、「津山国際塾」並びに「番外編(卒業塾生を対象)」は、中止した。

- ・入塾生 50名(20校)
- ・コロナ対策上、最終10回(兼卒業式)を除き、すべてZOOMによるオンライン講義となった。

活動の成果・効果

1. グループ討議の導入(新企画)

塾生を5グループに編成。講義と並行して、年間を通してグループ内で討議(テーマは共通:「2040年の岡山と私」)を重ね、その結果を最終回(10回)にて発表した。

各グループごとの議論もZOOMによることとなったが、グループ内でのコミュニケーションはそれなりに深まり、好評であった。

2. ZOOMのメリット・デメリット

- ・塾生たちから「せっかくの他校生との直接の交流機会が少なく、残念であった」との感想が寄せられた。「人づくりは、対面に勝るものなし」と感じた。
- ・今後、オンラインによるコミュニケーションの手法が社会に定着すると予想されるが、塾生たちはそのスキルを学ぶことができた。



第1回 オンライン講義に参加



第10回 初めてで最後の対面講義



第17期卒業式 記念撮影

今後の課題と問題点

1. 対面方式とオンライン方式のバランス

コロナの蔓延如何によるが、やはり「人づくりは、対面に勝るものなし」ではないか。(他校生徒との交流の中から、多くの気づきが得られる)

したがって、今後は対面を原則としたいが、オンライン方式にもメリット(受講生、講師とも遠隔地からの参加が可能、運営費のコスト削減等)があり、必要に応じて、この方式を活用したい。

2. コロナ対策

対面で実施の場合、コロナ対策には万全を期す必要がある。

- 代表者：秋政孝一 ●所在地：岡山市北区舟橋町
- TEL：086-203-3355
- E-MAIL：info@interkids-okayama.com
- URL：http://www.interkids-okayama.com
- 設立年：2015年 ●メンバー数：203名